

倫理方針

当社で働くすべての役員・従業員は、経営の根幹となるべきコンプライアンス（法規や倫理の遵守）の基本を、意識・共有し徹底するために、次の8か条を定め、倫理観の醸成に積極的に取組み、企業の社会的責任を果たします。

第1条 法規倫理遵守

私たちは国内外においてあらゆる法規とその精神を遵守するとともに、人権を含む各種の国際規範を尊重し、高い倫理観をもって行動します。

第2条 人権尊重

私たちは信条、性別、学歴、国籍、宗教、年齢、出身、身体障がい、性的指向などによる差別的な取り扱いをせず、個々の人権を尊重します。また強制労働、児童労働、ハラスメントの禁止などを全社的な共通認識とし、これらの関連法令を遵守します。

第3条 品質と安全

私たちは品質方針のもと、製品の品質向上と安全性の確保を推進し、事故の発生やお客さまからの苦情に対しては真摯に対応し原因の究明・対策・再発防止に努めます。

また、従業員が安全且つ衛生的な環境で労働に従事できる様、適切な作業環境の構築と維持に努めます。

第4条 責任ある商取引および反社会的勢力との関係断絶

私たちは国内外の市場において常に責任ある商取引（公正・透明・自由な競争）を行います。汚職、賄賂の授受、優越的地位の濫用、競争阻害行為を行わず、反社会的勢力とはいかなる関係も持ちません。

第5条 環境への配慮

私たちは、私たちの環境経営方針のもと、持続可能な環境への貢献のため、温室効果ガスの排出抑制、省エネルギーと廃棄物削減、有害廃棄物の適切な管理等による生物多様性保全への取り組みを通じて社会に貢献し、企業としての責任を果たします。

第6条 情報の管理と保護

私たちは機密情報の重要性を認識し、ステークホルダーに関する情報の適切な管理と保護を徹底します。

第7条 適切な会計と税務処理

私たちは関係法令に従い、適切な会計・税務処理を行います。

第8条 倫理違反防止

経営陣は自らこの倫理方針を率先垂範することで、当社で働くすべての人のモラル向上に努めます。

企業倫理に反するような事態が発生した場合、自ら問題解決に取組み、原因究明と再発防止に努めます。

制定：2016年8月3日

改訂：2026年7月1日